

「食」でなげんむね 子どもたちの未来



日置市立湯田小学校PTA会長

下池しもいけ

真まこと

本校PTAでは、各学級PTAや専門部等で、

食育についても積極的に取り組んでいます。その活動の一つとして、4学年PTAでは、「食育の日」である6月19日に、食育についての学習と給食試食を行いました。

今回は、東市来学校給食センターの栄養教諭をお招きし、「食ではぐくむ子どもの未来」をテーマに、講話をしていただきました。

マに、講話をしていただきました。

先生のお話は、給食センターの概要に始まり、学校給食の目標、安全・安心な給食の提供の努力、児童・生徒に対する食に関する指導の取組、朝食の重要性、朝食の工夫、「共食」のすすめなど、子どもたちの食に関する大切な内容でした。

講話の後は、給食試食

会を行い、親子で会話しながら楽しく給食をいただきました。

保護者の感想としては、「センターでは、いろいろなところに気を配って給食を作っており、地産地消にも積極的に取り組んでいることが分かった」「朝ごはんについてのお話を聞き、改めなければと思った」など、給食や朝食についてあらためて考えさせられたという内容が多く見られました。

家庭での食育に関する事後のアンケート調査では、「バランスの取れた献立を考えるようになった」「野菜をきちんと取れるような献立を工夫している」「夕食は家族そろって、テレビを消して食べるようになった」「子どもに調理の手伝いや配膳などをさせてい



栄養教諭による食に関する講話

などをさせてい